

寸言

郵船ロジスティクス株式会社
執行役員 総合開発営業部(部長委嘱)
川島 利夫



ロジスティクスから航空宇宙産業を支えたい。

郵船ロジスティクス株式会社の川島でございます。この度は日本航空宇宙工業会への入会をご承認いただき、誠にありがとうございます。当社は2010年、航空フォーディングに強みをもつ「郵船航空サービス」と、コントラクト・ロジスティクスおよび海上フォーディングに強みをもつ日本郵船グループの物流事業「NYKロジスティクス」が統合して誕生しました。以来、航空・海上フォーディングとコントラクト・ロジスティクスを両輪とする“総合物流企業”として、お客様の物流最適化の要請にお応えしています。

特に航空宇宙産業にておいては、航空機部材の海外から日本へ、そして日本から海外への輸送を1960年代より行っており、日本の航空宇宙産業を“物流”という側面からサポートしてきました。

さて、ロジスティクス、物流と申しましてもなかなかイメージをしにくい分野かもしれませんが、ここで実際の取り扱い事例をもとに当社の航空宇宙産業への取り組みをご紹介します。

当社では航空宇宙産業のお客様に特化したAerospaceチームを日本のみならず米国・シンガポールなどの主要拠点に設置しており、お客様からお預かりした航空機部品や宇宙機器の輸送、輸出入通関、また官公庁への各種届

出代行など各種サポートを行っております。又、単に輸送だけではなく、弊社の強みである世界478拠点のネットワークや200万平米を超える自社倉庫スペースを活かした海外での在庫管理や出荷前検品、航空・海上輸送を組み合わせたコストセーブ案をご提案させていただきます。

無論、AOGやPOAといった緊急貨物が発生した場合には、海外支店と昼夜を問わず連絡を取り合い、最速の輸送方法でお客様のもとへお届けをしております。以前、実際深夜にAOGが発生し、ストックホルムまでハンドキャリアで航空機部品の輸送を行った際、折り返しの帰国便を待っている時に、まさに修理を済ませた当該機が再び大空へ離陸していく姿を見る機会がございましたが、改めて緊急対応の重要性を実感したと同時に、エアラインひいては搭乗されているお客様に微力ながら貢献できたことを嬉しく思った次第です。

最終組立メーカーやエアラインそしてMRO企業からのハイレベルな要求に 대응していくため、会員各社様の生産・販売拠点のグローバル化は今後さらに加速していくことと存じます。当社も、グローバルマーケットにおける皆様のご活躍の一助となるような物流サービスの構築に努めて参る所存でございますので、ご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。